

別添 3

目標の達成状況等の評価（自然環境整備計画（国立公園整備事業））

都道府県名			大分県		対象地域名	阿蘇くじゅう国立公園（くじゅう地域）			評価年度	令和 8 年度	
事業実施期間			令和 3 年度～令和 6 年度			事業費	350,200 千円（うち国費 111,314 千円）				
事業の実施内容			【小松地獄園地整備事業】 令和4年度 遊歩道整備 令和5年度 遊歩道整備 令和6年度 木道設置工事、木道 2 箇所改修工事 【黒岳男池園地整備事業】 令和3年度 遊歩道整備 【赤川久住山線整備事業】 令和3年度 登山道整備 令和4年度 トイレ改修工事 【牧ノ戸峠法華院線道路（歩道）事業】 令和5年度 東屋新築工事（設計委託、新築工事） 令和6年度 木製階段改修工事設計委託 【牧ノ戸峠駐車場事業】 令和5年度 トイレ給水設備改修工事設計委託 令和6年度 トイレ給水設備改修工事 【志高湖野営場事業】 令和5年度 電気設備幹線改修工事								
目標の達成状況	整備計画策定時に設定した目標に対する事業の効果の発現状況		事業の実施により、施設の利便性が向上するとともに、利用者が安心して過ごせる安全性も確保された。その結果、公園全体の利用環境が改善され、より多くの方に親しまれる魅力ある公園づくりにつながった。なお、牧ノ戸峠法華院線道路（歩道）事業の木製階段改修工事については、令和8年度に完了予定。								
	目標を定量化する指標の達成状況	当初の指標	指 標		定 義	従前値	目標値	達成値	達成値の評価		
				単位		基準年度	目標年度	達成年度			
		その他の指標	くじゅう地域の利用者数	人／年	阿蘇くじゅう国立公園（くじゅう地域）の利用者数	5,169千人 平成30年度	5,428千人 令和6年度	3,571千人 令和6年度	コロナウイルスの影響で落ち込んだ利用者数は着実に増加（令和3年度比1.5倍）しているものの、未だ以前の水準に戻っていない。		

	整備に伴う取り組みの実施状況	・老朽化したトイレの給水設備の改修や東屋の新築により、利用者が快適に過ごせる環境が整備された。 ・一方で、整備費用の確保が困難なことから、再整備が十分に行き届いていない施設もあり、公園全体として一体的に魅力を高めていく上では、依然として多くの課題が残されている。
今後の取り組み		・老朽化により、快適に利用できない施設も残っているため、今後も継続的に再整備を進めていく必要がある。

別添 3

目標の達成状況等の評価（自然環境整備計画（国立公園整備事業））

都道府県名		大分県		対象地域名		瀬戸内海国立公園			評価年度	令和	8 年度
事業実施期間		令和 4 年度～令和 5 年度				事業費	6,054 千円 (うち国費 3,026 千円)				
事業の実施内容		【高島野営場事業】 令和4年度 野営場再整備設計委託									
目標の達成状況	整備計画策定時に設定した目標に対する事業の効果の発現状況		施設の利便性向上及び安全な利用環境の整備を図るため、高島野営場の再整備工事に係る設計を行った。 なお、野営場の再整備工事については、入札不調等により、実施時期を変更し、令和7年度に実施した。								
	目標を定量化する指標の達成状況	当初の指標	指 標		定 義	従前値	目標値	達成値	達成値の評価		
			単位	基準年度		目標年度	達成年度				
			高島キャンプ場の利用者数	人／年	高島キャンプ場の利用者数	178人	1,000人	0人		評価対象外（施設の老朽化に伴い、令和6年度は利用を中止したため）	
					令和2年度	令和6年度	令和6年度				
		その他の指標									
		整備に伴う取り組みの実施状況		・ 野営場を再整備することで今後の利用者増加が期待できる。							
	今後の取り組み		・ 今後も受入環境の整備を行い、国立公園全体で利用の促進を図る。								